



—あんじょうに新しい風が吹く—

市民創作劇

ただいま

奮闘中

市民創作劇

—明治用水異聞—「狐たちの安城ヶ原」

【あらすじ】

ふるさと安城がまだ安城ヶ原と呼ばれていたころ、たくさんの狐たちが平和に暮らしていた。ところが、荒れ地に水を引き、水田に変えるための用水工事が突然、狐たちの住む森に迫る。

森は、狐たちにとってかけがえのない土地。水不足に悩む農民たちの苦しみを理解しながらも、狐たちは、自分たちが生きていくための方法を懸命に模索する。海の向こうに新天地を求めようとする若衆狐。年寄り狐や幼狐たちのため、自らの命をかけて森を守ろうとする大将・銀狐。

見果てぬ夢をかなえようと、月の出を合図に安城ヶ原の狐たちは立ち上がる……。

市制施行50周年記念事業として企画されたすべてが手作りの市民創作劇。今年4月に広報紙などを通じて出演者や制作スタッフなどを募集したところ、予想を大きく上回る81人が応募。上は68歳から下は6歳まで。演劇経験のない人も多い。

一人でも多くの人と舞台を作る楽しさを分かち合いたい。一人でも多くの人に演劇のすばらしさを伝えたい。

参加者の数だけ、「思い」がある。それぞれの思いを胸に、ただいま奮闘中。